

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ⑥まちづくり等分野 (1/3)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区(静岡県)	4.6	4.9 進捗度 ・防災・減災機能の充実・強化 95% ・地域資源を活用した新しい産業の創出・集積 107% ・新しいライフスタイルの実現の場の創出 121% ・暮らしを支える基盤の整備 115%	4.7 規制の特例等 ・6次産業化の推進に関する優遇措置の適用要件の緩和 等 財政支援等 ・新東名新富士IC周辺物流拠点創出事業 ・総合特区支援利子補給金 等 地域独自の取組 ・緊急地震・津波対策交付金(財政支援) ・新規産業立地事業費助成(財政支援) 等	4.3	・大規模で長期的な事業が、着実に実施されている。様々な分野を対象に、地域の特性に合わせた多面的な取り組みが行われている。進捗状況も十分である。 ・今後新型コロナウイルスによって制限された諸活動・事業などへの影響を懸念。本特区で進めてきた防災・減災に関する取り組み、そして産業振興、施設の利用促進など、安全対策に努めたうえで本特区の特性を生かした事業継続をすすめてほしい。 ・新規の住宅開発や工場移転が進捗する一方で、既存住民や産業も巻き込んだ取り組みや空き家・遊休地となるエリアでのより一層の対応を期待したい。